

四ッ葉だより

特別号
2013.07

平成24年度事業・会計報告

平成24年度施設サービス（概況）

向夏の候、皆様方にはますますご健勝のことと存じます。

平素より四ッ葉福祉会に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

これまで、四ッ葉福祉会では、自立支援法に則った新事業体系への移行を段階的に行なってまいりましたが、昨春、法人下全ての事業所の移行を完了致しました。よって本号は、移行を終えた平成24年度の事業・会計報告を行なうものです。

今春、障がい者総合支援法が施行となりましたが、事業体系は当面現在の形を保つこととなります。法律や事業体系が変遷しても、利用者様主体の支援方針は揺らぐものではなく、今後も一層良質なサービスを提供していけるよう、職員一同努力してまいります。

一方、会計に関しては、現在「社会福祉法人会計基準」並びに「就労支援事業会計処理基準」に基づいて行なっている会計基準が、平成27年度末までに新たな会計基準への移行を完了することとされています。この「新会計基準」は、社会福祉法人の経営実態の正確性及び事業実態の明瞭性を求め、かつ法人経営の基盤強化を求めるものであります。

もとより当法人では、これらに配慮した法人経営を心掛けてきたところですが、この会計基準へも恙無く移行を終えられるよう、準備を進めてまいります。

皆様方には、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（統括管理者 青戸 雄一）

平成 24 年度各事業所 事業報告

◆ 障がい者支援施設 四ッ葉園 (平成 24 年 4 月 1 日より新体系移行)

○利用者状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

生活介護事業(定員 60 名) 45 名利用
内訳: 男性 32 名 女性 13 名

自宅(別施設)	4 名
グループホーム	7 名
施設入所支援利用	34 名

施設入所支援事業(定員 60 名) 60 名利用
内訳: 男性 40 名 女性 20 名

○事業内容

- ①生活介護事業(日中支援)
生活班…機能訓練、創作的活動、散歩等、
ミュージックケア
コンクリート班…アクティブよつばにて作業補助
農加工班…アクティブ'99 農加工班の作業補助
- ②施設入所支援事業(夜間支援)
食事支援、排泄支援、入浴支援、衣類着脱支援、
整容・洗面支援、移動支援、生活環境整備支援
- ③短期入所事業
- ④日中一時支援事業

◆ アクティブよつば事業所

○利用者状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

就労継続 B 型事業(定員 20 名) 21 名利用
内訳: 男性のみ

自宅	9 名
グループホーム	8 名
施設入所支援利用	3 名
アパート	1 名

○事業内容

- ①コンクリート二次製品の製造・販売作業の提供
- ②コンクリートブロックの製造・販売作業の提供
- ③製品配達(販売)作業の提供
- ④施設外支援・就労の提供
ブロック積み工事等の下手間作業
異業種への施設外就労
福祉会内給食センターでの実習
- ⑤職場実習の受け入れ

◆ 多機能型事業所 のぞみ

○利用者状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

就労移行支援事業(定員 6 名) 5 名利用
事業実績 就労された方: 4 名
(就労先: 清掃業)

就労継続 B 型事業(定員 20 名) 19 名利用
内訳: 男性 6 名 女性 13 名

自宅	13 名
グループホーム	6 名

○事業内容

- ①製造
食パン、ロール、菓子、調理、惣菜、
その他のパン、洋菓子、焼菓子類
- ②さんさん食堂
軽食メニューの製造
- ③その他
製造委託業務、冷凍生地製造
- ④弁当販売

◆ 多機能型事業所 アクティブ'99 (平成 24 年 4 月 1 日より新体系移行)

○利用者状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

就労継続 B 型事業 (定員 30 名) 21 名利用
内訳：男性 18 名、女性 3 名

自宅	8 名
若葉寮	5 名
グループホーム	8 名

生活介護事業 (定員 30 名) 26 名利用
内訳：男性 15 名、女性 11 名

自宅	11 名
施設入所支援利用	15 名

○事業内容

- ①農耕生産部門
野菜栽培、除草委託、園周り環境整備
- ②食品加工部門
- ③給食センター配食部門
- ④ハウスクリーニング部門
- ⑤下請け部門

◆ 生活介護事業所 やすらぎの家

○利用者状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

生活介護事業 (定員 30 名) 契約者数 29 名
内訳：男性 12 名、女性 17 名

自宅	17 名
施設入所支援利用	10 名
グループホーム	2 名

○事業内容

- ①活動
機能訓練、創作的活動、ミュージックケア、
各種行事の企画参加
- ②食事支援
- ③排泄支援
- ④入浴支援

◆ 指定共同生活援助事業所 たんぽぽ事業所

○利用者状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

たんぽぽの家 (男性 定員 6 名) 5 名利用
第 2 たんぽぽの家 (女性 定員 7 名) 7 名利用
第 3 たんぽぽの家 (女性 定員 6 名) 4 名利用
たんぽぽ田町寮 (女性 定員 4 名) 3 名利用
たんぽぽ南口 1・2・3 (男性 定員 12 名) 12 名利用
若葉寮 (男性 定員 20 名) 19 名利用
…福祉サービス利用：41 名、就職：9 名

その他アパート利用者 16 名
内訳：男性 9 名、女性 7 名

…福祉サービス利用：3 名、就職：13 名

○事業内容

- ①食事提供
- ②金銭管理
- ③余暇活動
- ④健康管理

◆ 指定相談支援事業所 ハローネット

○事業内容

- ①松江市障害者相談支援事業
相談支援件数実績 2,978 件
- ②障害児等療育事業
- ③障害程度区分審査会
松江市（月 1 回開催）より業務委託を受け実施。
- ④サービス利用計画作成
対象者 22 名
- ⑤地域移行
対象者 1 名
- ⑥研修の企画

◆ 障がい者支援施設 授産センターよつば

○利用者状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

就労継続 B 型事業（定員 40 名） 44 名利用
内訳：男性 33 名、女性 11 名

自宅	24 名
ケアホームよつば	4 名
施設入所支援利用	16 名

生活介護事業（定員 50 名） 47 名利用
内訳：男性 35 名、女性 12 名

自宅	12 名
ケアホームよつば	3 名
施設入所支援利用	32 名

施設入所支援事業（定員 60 名） 53 名利用
内訳：男性 42 名、女性 11 名

○事業内容

- ①就労継続 B 型事業
印刷・製版、被服・縫製、簡易作業、工芸
- ②生活介護事業
食事支援、排泄支援、入浴支援、移乗支援、
健康管理、個別リハビリ、集団リハビリ、
レクリエーション、
軽作業（就労継続支援 B 型事業からの作業委託）
- ③施設入所支援事業
- ④短期入所事業

◆ 指定相談支援事業所 授産センターよつば

○事業内容

- ①指定特定相談支援事業（計画相談支援）
- ②サービス利用計画作成
実績 26 名
- ③モニタリング
実績 13 件
- ④地域移行

(共通事項)

○行事内容

月 日	行 事	内 容
4月14日	花見（授産センターよつば）	松江フォーゲルパーク
6月15日	バーベキュー（授産センターよつば）	利用者との交流会
7月21日	野球観戦（授産センターよつば）	高校野球夏季大会観戦
7月27日	ガーデンパーティー（四ッ葉園）	猛暑の為、館内にて食事会
8月17・23日	家庭実習報告会（四ッ葉園）	なにわー水にてビアガーデン
10月6日	四ッ葉まつり（四ッ葉園）	地域開放
10月27日	ふれあいフェスティバル（授産センターよつば）	地域開放
12月2日	ランチバイキング（授産センターよつば）	東急インにて利用者との交流会
12月19・25日	クリスマス会（四ッ葉園）	19日：行事食提供、25日：プレゼント交換
1月7日	新年会（四ッ葉園）	改修工事のため正月メニュー
2月3日	節分（四ッ葉園）	節分豆まき
3月26日	春のディナーパーティー（四ッ葉園）	ホテル一畑でフルコース料理

その他、各種スポーツ大会等への参加や、観劇、遠足、上映会などの余暇企画を多数開催し、多くの利用者様に参加いただきました。

○健康管理業務

・検診状況

年間を通し、疾病予防のため健康管理を徹底する。特に、新型インフルエンザ、ノロウイルスの予防、食中毒の発生しやすい時期にはポスター掲示による手洗い、うがいの徹底などに努めた。

月	内 容
4月	血圧・体重測定
5月	血圧・体重測定 利用者・夜勤職員健康診断
6月	血圧・体重測定 利用者健康診断
7月	血圧・体重測定 てんかん研修会
8月	血圧・体重測定 利用者胃がん検診、大腸がん検診、職員健康診断、歯科講習会
9月	血圧・体重測定
10月	血圧・体重測定 歯科検診
11月	血圧・体重測定 利用者・職員インフルエンザ予防接種、利用者・職員健康診断
12月	血圧・体重測定 救急救命講習
1月	血圧・体重測定
2月	血圧・体重測定 利用者健康診断
3月	血圧・体重測定

○防災対策

H24 年度 訓練・研修等一覧

実施日	訓練・研修内容	備考
6月8日	各事業所消防設備自主点検	
6月14日	土砂災害防災対策調査	授産センターよつばを除く
6月21・28日	火災通報装置取り扱い訓練	職員20名参加
6月25日	総合火災避難訓練	授産センターよつば
7月24日～7月31日	各事業所避難経路確認	
7月30日	総合防災訓練（避難・通信・消火）	四ッ葉園
9月19日	緊急時職員連絡網通信訓練	
9月	鹿島ふれあい館との合同避難訓練	アクティブ'99 職員1名・利用者9名
9月24日	避難訓練	授産センターよつば
9月30日	古志町大津波想定避難訓練	若葉寮・たんぼぼの家利用者参加
11月18日	古志町防災訓練	
11月20日	総合火災避難訓練	授産センターよつば
12月6日	火災避難訓練	四ッ葉園
1月26日	平成24年度原子力防災訓練（松江市）	
2月15日～2月20日	各事業所火の元点検	コンセント・電化製品の調査
2月22日	総合火災避難訓練	授産センターよつば
その他 消防設備点検：4・5・6・7・11・1月		

○リスク管理

①事故の予防活動

各事業所ともヒヤリハット報告活動、KY活動を事故予防活動の主軸とし、毎月実施した。これら活動で得られた情報を集約・分析し、その結果を全職員にフィードバックすることで、危険情報の共有に努めた。

また、必要がある場合は個別指導を行ない、活動内容も各事業所の事業実態に応じて独自のものとする等、実効的な事故予防活動を行なった。

こうした活動については、全職員に定着しつつあるが、得られた情報を予防策に反映する点で不足も見られ、今後の課題として取り組んでゆくこととしている。

②事故の対応（重大事故発生はなし）

迅速な対応と処理に努め、個別に要因分析を実施し、再発防止策を策定した。

③利用者所在不明対応（長期に亘るもの、重大なものはなし）

対応マニュアルに則った迅速な対応により、長期化を防いだ。また、要因分析を行ない、再発の防止にも努めた。

④今後の取り組み

- (1) 職員一人ひとりが危機意識を高め、利用者の方により一層安心して過ごしていただけるよう、サービスの質の更なる向上に努める。
- (2) 障がい者虐待防止法の施行に鑑み、幅広い情報収集や、職員への教養・指導・情報発信を強め、虐待事案の発生の絶無を期す。

実施日	研修内容	備考
6月21日	リスク管理講習 交通安全教育（ビデオ講習）	職員13名参加
7月31日、8月2、6日	リスク管理講習 リフト車輛操作講習	職員26名参加
1月20日	安全運転講習 冬場の運転の注意	職員18名参加
2月22日	「安全の日」リスク管理講習	職員29名参加

社会福祉法人 四ッ葉福祉会 (第 28 期) 決算報告書

自：平成 24 年 4 月 1 日 至：平成 25 年 3 月 31 日

貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	当年度末	科 目	当年度末
流動資産	594,000	流動負債	249,422
棚卸資産	10,070	固定負債	60,946
		負債の部合計	310,368
固定資産	2,214,066	純 資 産 の 部	
基本財産	1,586,784		当年度末
その他の固定資産	627,282	基本金	194,934
		国庫補助金等特別積立金	984,479
		その他の積立金	124,167
		次期繰越活動収支差額	1,194,118
		(当期活動収支差額)	59,864
		純資産の部合計	2,497,698
資産の部合計	2,808,066	負債及び純資産の部合計	2,808,066

資金収支計算書

(単位：千円)

勘 定 科 目	本年度決算
就労支援事業活動による収支	
就労支援事業収入計	169,199
就労支援事業支出計	160,492
就労支援事業活動資金収支差額	8,707
福祉事業活動による収支	
福祉事業収入計	910,917
福祉事業支出計	825,272
福祉事業活動資金収支差額	85,645
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	10,798
施設整備等支出計	126,260
施設整備等資金収支差額	-115,462
財務活動による収支	
財務収入計	13,660
財務支出計	76,918
財務活動資金収支差額	-63,258
当期資金収支差額合計	-84,368
前期末支払資金残高	418,876
当期末支払資金残高	334,508

事業活動収支計算書

(単位：千円)

勘 定 科 目	本年度決算
就労支援事業活動収支の部	
就労支援事業活動収入計	169,199
就労支援事業活動支出計	170,406
授産事業活動収支差額	-1,207
福祉事業活動収支の部	
福祉事業活動収入計	779,093
福祉事業活動支出計	719,470
福祉事業活動収支差額	59,623
事業活動外収支の部	
事業活動外収入計	173,265
事業活動外支出計	170,934
事業活動外収支差額	2,331
経常収支差額	60,747
特別収支の部	
特別収入計	10,798
特別支出計	11,681
特別収支差額	-883
当期活動収支差額	59,864
繰越活動収支差額の部	
前期繰越活動収支差額	1,134,254
当期末繰越活動収支差額	1,194,118
基本金取崩額	
その他の積立金取崩額	
その他の積立金積立額	
次期繰越活動収支差額	1,194,118

(1) 一般会計 (社会福祉法人会計基準)

法人本部
給食センターよつば
相談支援事業所ハローネット
障がい者支援施設四ッ葉園
(施設入所・生活介護・短期事業・日中一時支援事業を含む)
たんぼぼ事業所
生活介護支援事業所やすらぎの家
障がい者支援施設授産センターよつば
(施設入所・短期事業・共同生活介護事業)
相談支援事業所授産センターよつば

(2) 特別会計 (就労支援事業会計処理基準)

アクティブよつば事業所
(就労継続 B 型支援事業)
多機能型事業所アクティブ'99 事業所
(生活介護・就労継続 B 型支援事業)
多機能型のごみ事業所
(就労移行・就労継続 B 型支援事業)
障がい者支援施設授産センターよつば
(生活介護・就労継続 B 型支援事業)

就任ご挨拶

授産センターよつば 所長 福原 琢人

向暑の候、皆様方には益々ご清祥のことと存じます。平素は四ツ葉福祉会に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年度より異動という形で授産センターよつばの勤務を拝命しておりましたが、この四月より所長の大役を仰せつかることになりました。

歴史ある授産センターの運営が県から四ツ葉福祉会へ移管されてからの七年間、前任の吉本所長が粉骨砕身、努力して来られた後をお引き受けするのは、身の引き締まる思いでありましたが、あっという間に過ぎたこの二か月。いまだに右往左往しながら、しかし、皆様に支えられながら、何とかやっているところ です。

昨年度末に灯油ボイラーをエコキュート（電気給湯器）に替える工事を行い、ハード面としては、今後は維持管理の課題が出てきますが、大きなところは整った、その建物の中に、より良いサービスを入れて行くことに力を注いでいきたいと考えております。

この厳しい時代を乗り越えていくために、今こそ法人全体として少しでも「強い集団」になっていくことが私たちに課せられた課題であり、四ツ葉園周辺の各事業所にそれぞれ特色と役割があるのと同様に、「元身障授産」ならではのカラーを出して行ければと考えているところです。

なにぶん初めての事ばかりで、百戦錬磨の前所長には及びませんが、力の限りを尽くす決意しております。なにとぞ皆様のご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

授産センターよつば 支援課長 若月 満

このたび、授産センターよつばにて勤務することになりました。若月 満 と申します。初心にたちかえり気持ちを新たにし、これからの自己研鑽への決意を抱きつつ、これまでの四ツ葉園での二十年の経験も十分に生かし、利用者の皆様へのより良いサービスを心掛けていく所存であります。どうか今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

四ツ葉だより 特別号
平成 25 年 7 月 9 日発行

発行所
社会福祉法人 四ツ葉福祉会
〒 690-0121 松江市古志町 1551-4
TEL : 0852-36-8877
FAX : 0852-36-8894

編集・印刷
四ツ葉福祉会広報委員会

※本紙に使用した写真等は本人・家族の方の了解を得ています。

